

令和2年度 公立小松大学入学者選抜試験
一般入試（中期日程）試験問題

小論文

【国際文化交流学部】

国際文化交流学科

（注意事項）

- 問題用紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 問題用紙は本文4ページです。答案用紙は2枚です。
- 答案用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 答えはすべて答案用紙の指定のところに、横書きで記入しなさい。
- アルファベット文字や数字は、1マスに1字で記入しなさい。
- 字数制限のある解答については、句読点を1字と数えること。
- 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

I. 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係上非公表としております

(出典：谷川健一編著『現代「地名」考』日本放送出版協会、1979年、14-15頁)

[問1] 下線部 (A) 「簡明な大町名に変え、その下に数字を置くという方法」とは、
どういうことを指すのか。本文の記述をもとに70字以内で述べなさい。

〔問2〕下線部（B）「泉は普通名詞でありながら、また固有名詞の役目もつとめる」とは、どういう意味か。本文を踏まえて150字以内で述べなさい。

〔問3〕編者の谷川健一らのグループは、日本にある昔からの町名が消えていくことに反対し、旧町名の復活を訴える「地名を守る会」を立ち上げて活動してきた。その後、旧町名の一部を復活させた自治体も登場している。石川県の県庁所在地、金沢市は先進例である。金沢市尾張町2丁目の一帯だったところを、平成11年10月1日に約30世帯分を「主計町（かずえまち）」として復活させた。その後も旧町名がいくつか復活している。これについてどう考えるか、あなたの意見を400字以内で述べなさい。

II. 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係上非公表としております

著作権の関係上非公表としております

(出典：山田真茂留「グローバル現代社会論－イントロダクション－」山田真茂留編著『グローバル現代社会論』文眞堂、2018年、5-6頁。なお本文中の項目題名および引用文献の表記はすべて表示を略した。)

[問1] 下線部（A）に関して、筆者はなぜ受け入れ先の国民が憤慨すると考えているか、その理由を100字以内で述べなさい。

[問2] 下線部（B）に関して、筆者はなぜ社会が混沌としたものになってきたと考えているか、その理由を200字以内で述べなさい。

[問3] 下線部（C）に関して、あなた自身が考える「共有価値をもとにした社会」と「共有価値に依拠しない社会」とはどのようなものか、300字以内で述べなさい。